

ネットワークチーム



崎田 裕子

総括責任者
元気ネット理事長
環境カウンセラー

子どもや孫の世代まで快適な環境が続くことを願い、ジャーナリスト・環境カウンセラーとして歩んでいる。

元気ネットで「市民がつくる環境のまち“元気大賞”」事業を推進する中で、「人づくり・地域づくり」が「持続可能な国づくり」に直結すると実感。伊万里はちがめプラン、佐賀大学、タイの多くの方々との出会いの中で、地域環境活動の相互交流の環をアジアに広げる、貴重な第一歩が踏み出したことに、心から感謝します！



鬼沢 良子

実施責任者
元気ネット事務局長
環境カウンセラー

専門性ある皆様に助けていただきながら、本プロジェクトを実施することができ、大変感謝しています。元気大賞やエコツアーで日本全国の地域づくりの方々との出会い、同じようにタイの皆様とも出会うことができ、たくさんの経験ができた短い1年でした。言葉の壁を感じることなく多くを学び合え、タイがとても身近な国になりました。この貴重な経験を次につなげたいと願っています。お世話になった皆様ありがとうございました。



小林 一紀

企画・翻訳

ジャパン・フォー・サステナビリティという団体で、日本の環境情報の海外への発信に携わっています。アジアにとってサステナビリティとは？を模索しながらの参加となりましたが、日本の地域活動家と変わらぬ思いとアイデアをもち、生命共同体の一員として生き生きと活動しているタイの地域活動家たちの息吹に、「日本人よ、サステナビリティはもっと身近なものなのだ」とドーンと頭を叩かれた気がしています。



澤田 和子

元気ネット副理事長
まちアクター

NPO法人「持続可能な社会をつくる元気ネット」は、国内200を超える環境関連団体をネットワークしています。市場経済至上主義から地域を軸とした環境、文化を優先する地域社会の構築を模索していますが、今回タイ国の調査にあたり、経済優先、拡大成長にある日本の姿が垣間見え愕然としました。一方で、生きることの探求、自然環境との共存、宗教に支えられたタイ国のコミュニティから多くを学ぶことができ感激でした。

Thailand Environment Institute (TEI)



1993年5月設立の環境問題、自然環境保護等に係る調査や政策提言を目的とするNGO。

<http://www.tei.or.th>

Dr. Ampai Harakunarak

TEIの責任者

堆肥化チーム



福田 俊明

ステーキレストラン伊万里オーナーシェフ
伊万里はちがめプラン理事長
環境カウンセラー

生ごみを市民の税金で焼却処分するのは“もったいない”と気づき、平成12年市民の協力によって生ごみ堆肥化実験プラントを建設、本格的に微生物による生ごみ堆肥化の実証実験を開始する。平成15年5月NPO法人として認証を受け今日に至っている。元気大賞2002の受賞をきっかけに、元気ネットと佐賀大学の支援を受け、はちがめプランの長年の活動をタイ国の人々に紹介できたことは最高の幸せである。皆様に感謝！



染谷 孝

佐賀大学農学部助教授、
専門分野：土壌微生物学

東北大学大学院農学研究科にて農学博士号取得後、産業医科大学医療技術短期大学助手・講師を経て、1994年より現職。NPO伊万里はちがめプランなど食資源循環活動を支援する佐賀大学の取り組み(はちがめエココミネット)を本格的に始めて4年目。この経験をタイ国の人々に役立てる活動にまで発展させる機会に恵まれたのは、大変うれしいです。タイの方々とは、今後とも交流を継続させたいです。NPO元気ネットの皆さんのパワーに感謝！



田中 宗浩

佐賀大学農学部助教授、
専門分野：廃棄バイオマスの利用

鹿児島大学大学院連合農学研究科にて博士号(農学)を取得後、佐賀大学農学部助手を経て2004年より現職。生ごみ、し尿、畜産廃棄物などの有効利用に取り組む。「タイの皆さんの自治意識の高さと熱意には感心するばかり。私たち自身もタイ国の環境活動から実に沢山のことを学びました。なにはともあれ、タイがすっかり好きになった、これが一番の成果です!!」



井上 興一

佐賀大学農学部教授、
専門分野：植物栄養学

九州大学農学部農芸化学科を卒業後、広島県立農業短期大学助教授を経て、1997年広島県立大学教授。2001年8月より現職。NPO伊万里はちがめプラン(はちがめエココミネット)に参加している関係で、タイの家庭から出る生ごみの処理状況や福田さん指導による現地での堆肥の製造状況を観察できました。NPO元気ネットの鬼沢事務局長はじめ皆さんには、本当にお世話になりました。

チュラロンコン大学



1917年にラーマ5世が創立したタイで最も歴史のある国立大学。

Dr. Prakitsin Sihanonth

理学部微生物学科準教授
他4名の専門メンバーが参加した。